

①計画の目的

桜島は、わが国の国立公園のひとつである霧島錦江湾国立公園に位置し、標高1,117メートル、周囲52キロメートルの、錦江湾に浮かぶ活火山であり、鹿児島県のシンボルとして、また、気軽に活火山を間近で体験できる観光地として人気の高いエリアとなっている。

鹿児島市では、コロナ禍で落ち込んだ観光消費の改善に向け、また、地域のシンボルとなる桜島の活性化に向けて、市の主要観光地としての再生・高付加価値化に向けた検討を進めている。

本計画は、桜島の自然を活かしたアクティビティについて、今後の整備に向けた基本的な方向を示すことを目的とする。

②事業計画地の概要

事業計画地は、鶴崎灰捨場跡地の約3.5ha（約35,000㎡）を基本とし、拡張する場合は活用可能最大範囲として約6.6ha（約66,000㎡）を想定する。



※計画地からフェリーターミナルまでの距離 約1.5km（徒歩で約20分 車で約4分）



図 事業計画地

※上記は不動産登記の範囲とは一致しない概ねの敷地範囲を示す。※今後の検討状況によって、事業計画地の範囲を変更する可能性がある。

図 桜島位置図

copyright © N T T インフラネット株式会社 All Rights Reserved.

表 計画地の概要

copyright © N T T インフラネット株式会社 All Rights Reserved.

所在地	鹿児島市桜島横山町
敷地面積	鶴崎灰捨場跡地：約35,000㎡
所有者	鹿児島市
都市計画関連	都市計画区域外
建蔽率・容積率	-
法令に基づく制限	○自然公園法 ○景観計画区域（桜島ゾーン） ○都市計画法 ○森林法
供給施設情報	○電気：九州電力（敷地外の車道等から引廻しが必要） ○給水：上下水道局（敷地外の車道等から引廻しが必要） ○排水：浄化槽（整備要） ○電話：N T T（敷地外の車道等から引廻しが必要） ○敷地内に温泉の引廻しの可能性あり
その他整備条件	○もともと火山灰の堆積場のため地盤改良が必要となる可能性あり。
計画地の状況	土地利用 灰捨場となっていたが、現在は剪定枝の置き場等、維持管理バックヤードとして活用している。 地形 海辺に近接し平地が広がっている。 植物・植生 剪定枝の置き場として使用している場所以外は、自生の中低木やつる性植物（葛）が繁茂し立ち入れない状況となっている。 景観 既存展望施設から桜島の山頂がよく見える。海辺に近づくとぐでき、海辺を感じながら対岸の鹿児島市も一望できる。 その他特徴 ・平地は広く拡張性が高い。 ・フェリーターミナルからのアクセスの際に高低差がなく近い。 ・溶岩なぎさ遊歩道からのアクセスも可能である。

③観光動向

国内では新型コロナウイルス感染症の影響により大きく落ち込んでいた観光需要も同感染症の第5類への移行により、以前の状態にもどりつつあり、令和5年において鹿児島県周辺で来訪者の最も多い場所は桜島となっている。また、外国からの来訪者数も大きく改善しており、鹿児島市での訪問観光地は桜島が最も多く、国内、国外とも、鹿児島市を初めて訪れた観光客、2回以上訪れた観光客いずれも訪問観光地として桜島が最も多い。

【国内観光動向】

令和5年の鹿児島市の総観光客数は、900万9千人で、前年に比べ183万2千人増（前年比25.5%増）となった。

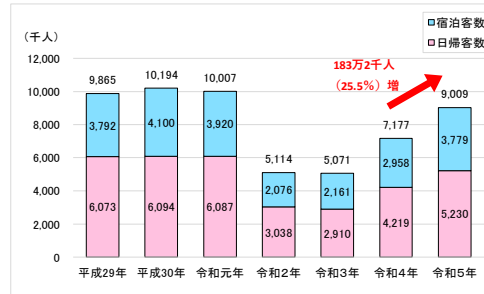


図 鹿児島市 総観光客数の推移

出典：令和5年 鹿児島市観光統計

宿泊観光客数を発地別に見ると、九州・沖縄地区96万7千人（構成比27.1%）が最も多く、次いで県内89万9千人（同25.2%）、関東地区77万1千人（同21.6%）と続き、この3地区で全体の74.0%を占めている。

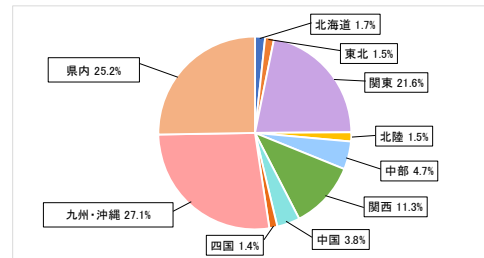


図 鹿児島市 宿泊観光客の発地割合

出典：令和5年 鹿児島市観光統計

【海外からの観光動向】

外国人宿泊観光客数は、新型コロナウイルス感染症の影響で、2021年（令和3年）では約8,000人（令和元年の約16%）まで減少したが、2023年（令和5年）には、21万6,930人（令和元年の約44%）となっている。

鹿児島市内の訪問観光地では桜島が83.1%と最も多い。また、過去には来ているが、初めて鹿児島市を訪れた観光客の90.5%、2回以上鹿児島市を訪れている観光客の70.7%と、いずれも鹿児島市内における訪問観光地として桜島が最も多い結果となっている。

令和5年の鹿児島市の宿泊観光客数は、377万9千人で、前年に比べ82万1千人増（前年比27.8%増）となった。

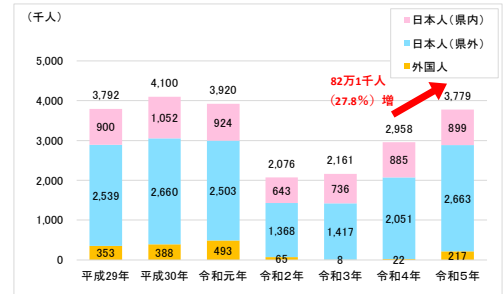


図 鹿児島市 宿泊観光客数の推移

出典：令和5年 鹿児島市観光統計

鹿児島市内の訪問観光地では桜島が24.5%と最も多い。また初めて鹿児島市を訪れる観光客の35.5%、2回以上鹿児島市を訪れている観光客の20.3%と、いずれも鹿児島市内の訪問観光地として桜島が最も多い結果となっている。

調査項目	調査数	桜島	霧島	錦江湾	鹿児島市	鹿児島県	鹿児島県以外	その他
全体	n=554	24.5	15.6	6.1	15.0	6.4	2.5	3.6
日本人(県内)	n=153	32.7	18.3	8.8	18.2	7.7	1.5	2.8
日本人(県外)	n=394	28.8	20.2	2.3	16.0	3.4	3.0	4.3
外国人	n=91	27.5	29.2	27.9	15.2	3.7	0.3	-
初めて鹿児島市を訪れる観光客	n=23	24.9	15.6	25.9	20.0	-	-	-
2回以上鹿児島市を訪れている観光客	n=128	14.3	9.7	3.9	11.7	16.2	2.4	4.8
鹿児島市内の訪問観光地	n=45	6.7	4.4	4.4	6.7	6.0	-	-
鹿児島市内以外の訪問観光地	n=81	21.2	16.0	8.8	7.5	8.2	3.2	3.7
30歳以下	n=72	23.1	11.7	18.8	6.8	19.9	1.9	2.9
30歳以上	n=25	30.1	3.0	14.6	12.0	14.5	1.9	4.8
男性	n=134	23.1	6.4	17.2	21.1	9.7	3.7	7.5
女性	n=97	11.6	18.8	19.0	20.6	6.2	4.1	1.0
10歳以上	n=79	16.7	1.2	19.7	14.7	3.0	2.7	4.2
10歳以下	n=168	35.9	21.1	25.8	15.3	19.2	2.0	7.2
県外から鹿児島市へ1回以上	n=200	30.1	1.9	12.1	15.4	6.9	7.4	2.8

図 鹿児島市旅行動向

鹿児島市観光消費額調査・マーケティング分析報告書（令和6年2月）

調査項目	調査数	桜島	霧島	錦江湾	鹿児島市	鹿児島県	鹿児島県以外	その他
全体	n=212	83.1	12.6	3.2	48.3	31.8	3.3	5.8
日本人(県内)	n=14	71.0	41.3	7.1	71.4	7.1	-	-
日本人(県外)	n=198	82.9	41.8	3.2	50.1	37.2	2.9	5.6
初めて鹿児島市を訪れる観光客	n=21	85.7	42.0	9.5	52.4	38.1	-	4.8
2回以上鹿児島市を訪れている観光客	n=191	80.3	39.0	0.6	50.0	20.0	2.0	10.0
30歳以下	n=44	75.9	49.9	5.3	58.5	20.5	4.9	2.8
30歳以上	n=29	87.8	37.6	0.1	46.1	37.0	-	10.1
男性	n=12	92.5	48.9	2.4	53.9	24.3	2.8	3.1
女性	n=76	70.7	35.3	0.6	34.1	22.0	2.8	8.0

図 鹿児島市内の観光地

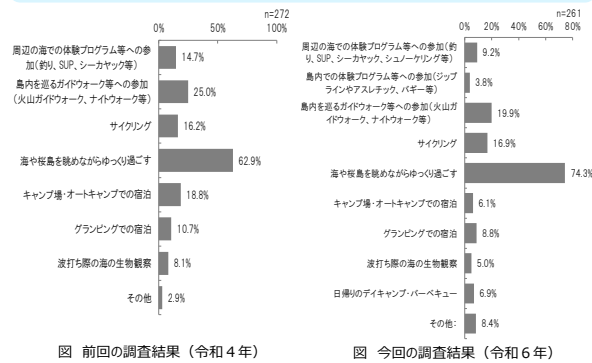
鹿児島市観光消費額調査・マーケティング分析報告書 資料録（令和6年2月）

#### ④WEBアンケート

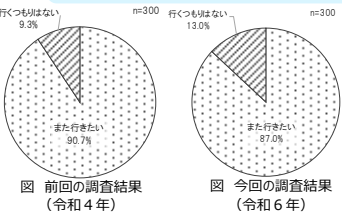
新型コロナウイルス感染症の拡大により、全国的に観光動向に大きな影響があった。令和4年の状況に対し、**同感染症が第5類へ移行した現在（令和6年）の状況を比較した。**

結果として、桜島の来訪意向や、今後体験してみたい上位2番目までは変化していない。

桜島で今後体験してみたいことは、**令和4年と令和6年で変わらず、「海や桜島を眺めながらゆっくり過ごす」が6〜7割で最も多く、次に「島内を巡るガイドウォーク等への参加（火山ガイドウォーク、ナイトウォーク等）」が2割程度となっている。**



桜島への来訪意向について、令和4年と令和6年で変わらず、**約9割の方が「まだ行きたくない」と回答している。**



#### ⑤法との関係等（自然公園法）

計画地周辺は、自然公園法に基づいた利用施設計画の中で、「園地」又は「野営場」と位置付けられているが、現段階では、より幅広く多様な機能の導入が可能な「園地」での整備を想定している。

なお、公園事業としては事業計画の決定の手続きが必要である。

また、「**園地**」の整備方針として、「**溶岩原の展望と火山の観察の場として整備する。**」と示されており、下表に、**管理運営計画書に示されている「園地」で整備することができる付帯施設**を下記に示す。

#### 国立公園「園地」に導入可能な付帯施設一覧

種類	具体的な施設イメージ
休憩所	レストラン、カフェ、フードコート、パブ、屋内遊び場等
展望施設	展望台、展望デッキ等
案内所	物産館、直売等
野営場	キャンプ場（コテージ、グランピング舎）、デイキャンプ場、BBQサイト等
野外の運動場（小規模なものに限る）	フィットネス、スポーツ施設、屋外の広場、既存林内アスレチック等
水泳場	プール等
舟遊場（小規模なものに限る）	水辺の桟橋、デッキ等
スケート場（小規模なものに限る）	—
駐車場	—
公衆浴場	スパ、温浴施設、サウナ等
公衆便所	—
野外劇場及び植生復元施設	—

#### ⑥整備コンセプトの検討

##### ▲桜島をとりまく観光動向の変化

##### ●鹿児島市の観光動向

新型コロナウイルス感染症の影響により大きく落ち込んだが、令和元年の約16万人から、新型コロナウイルス感染症の影響の第5類への移行後、以前の状況にもどりつつある。

鹿児島市に初めて訪れた観光客、2回以上訪れた観光客のいずれも訪問観光地として桜島が最も多い。

##### ●桜島の観光動向

リクルーイング・観光バス（桜島観光バス）年間利用者は、令和元年の約16万人から、新型コロナウイルス感染症の影響の第5類への移行後、以前の状況にもどりつつある。

鹿児島市に初めて訪れた観光客、2回以上訪れた観光客のいずれも訪問観光地として桜島が最も多い。

##### ●外国人の観光動向

外国人からの来訪者数も多くなっており、令和5年には、前年比約6.7倍、新型コロナウイルス感染症の影響の第5類への移行後、以前の状況にもどりつつある。

鹿児島市に初めて訪れた観光客、2回以上訪れた観光客のいずれも訪問観光地として桜島が最も多い。

##### ●WEB調査によるニーズ把握

桜島の再来訪意向は約9割と高い。

桜島で体験したいことについては、「海や桜島を眺めながらゆっくり過ごす」が6〜7割で最も多く、次いで「島内を巡るガイドウォーク等への参加（火山ガイドウォーク、ナイトウォーク等）」が多いが、3番目は令和4年で「キャンプ場・オートキャンプでの宿泊」となっていたのに対し、令和6年では「サイクリング」となっている。

「海や桜島を眺めながらゆっくり過ごす」とは、令和4年の調査と今回の調査で大きな変化はない。

##### ▲国立公園の公園計画

桜島は鹿児島県国立公園（錦江湾地域）に指定されている。計画地は、公園事業の施設計画において「野営場、園地」として事業決定を受ける必要がある。

整備にあたっては、自然公園法の手続きに沿って事業を進める。

##### ▲鹿児島市上位計画

桜島・錦江湾ジオパークの特性を活かした体系的な観光レクリエーションの促進と受け入れ体制の充実

広域的な観光・レクリエーションとしての魅力向上

訪れる人の感動、暮らしの幸せをつくる「桜島観光」の実現として整備後に財政負担とならない自立した事業性の高い取り組み

##### ▲桜島のポテンシャル

- 火山と日常生活が融合した世界的に高い知名度
- 国内国外を問わず高い来訪意向
- 火山や豊かな錦江湾を活かした、ここでしかできない体験
- 鹿児島市街地からの高いアクセス性

##### 整備コンセプト

### 桜島アドベンチャートラベル はじまりの場所

鹿児島市街地に近接し気軽に訪れられる場所でありながら、活火山と生活が隣り合った、他では見ることができない唯一無二の桜島の魅力をしっかり体験するための滞在場所

##### ターゲット

- 九州全域、関東・関西等の都市部の本物志向のファミリー層
- 桜島及び錦江湾の自然をおもいきり体感したアクティブ層
- 世界でも珍しい火山観光に訪れたインバウンド観光客を含む来訪者

##### 整備の方向性

- 桜島や錦江湾を望め快適に滞在し、様々な体験ができる広場空間
- 桜島の季節の食材が楽しめるBBQテラス
- 移ろう四季の景色を感じる温浴施設

##### 主な機能

桜島の魅力を体感するために必要な機能を「レクリエーション」「食」「買い物」「滞在」「交通」と設定し、「桜島ならではの新たな体験」につなげる

#### ⑦導入機能イメージ

桜島自然体験アクティビティ拠点における、**主なターゲットの過ごし方や、展開が想定されるアクティビティ及び整備が有効と考えられる施設イメージを整理した。**なお、施設については、計画地が国立公園内に立地することを踏まえ、**自然公園法に留意することが必要となる。**

機能	拠点施設での過ごし方	想定されるアクティビティ	施設イメージ
レクリエーション	桜島（火山）を知る	・桜島内のみどころや、拠点施設の内容を把握 ・火山周辺のウォーキングイベント等桜島内での既存アクティビティへの参加受付	案内所
	錦江湾を体感する	・錦江湾を眺めながら、誰もが安全で快適に泳いだり、プールサイドでくつろぐ ・ダイビングやSUP、シーカヤック等の水辺でのマリッジを楽しむ（既存マリッジと連携） ・水辺で錦江湾の水際の生き物を観察	プール（水泳場）、海岸沿いの木デッキ、海辺へのアクセス路、水上アスレチック
	周辺の緑を体感する	・周辺の林や広場で自然を感じながら体を動かして楽しむ	林内のアスレチック遊具、多目的広場
	桜島に癒される	・桜島ならではの資源を活用し心身を整える	温浴施設（サウナ、スパ）
食	イベントを楽しむ	・季節や時間帯に応じて開催されるプログラムを楽しむ	屋外ステージ（野外劇場）
	桜島の食を楽しむ	・地域の食材を使って作られた食事を味わう	レストラン・カフェ・物産館・売店
買い物	桜島の特産品を購入する	・購入した特産品を現地から自宅等に発送する ・その場で食べて味を堪能する	売店（土産物屋）
	桜島の自然に囲まれてゆっくり過ごす	・錦江湾を眺めながらゆっくり滞在する ・拠点以外の周辺を歩いたり自転車等で周遊するために荷物を預ける ・桜島の自然を身近に感じながらカジュアルに宿泊する ・桜島を長期に楽しむため、仕事をしながら滞在する	カフェ、パブ、駐車場、ロッカー、キャンプ場（コテージ、グランピング舎）、デイキャンプサイト、ワーケーション施設
滞在	快適にアクセス及び移動する	・自家用車でない自転車等で身軽に移動する ・桜島港から快適に移動する	レンタルモビリティ（レンタサイクル、セグウェイ等）

#### ⑧土地利用イメージ

**既存遊歩道** 既存遊歩道を活用  
想定する機能：交通、遊歩、スマートフォン充電、休憩

**海辺の小広場** 火照の運行等様々な活用  
想定する機能：食、滞在

**錦江湾を望む水際** 錦江湾を活用  
想定する機能：レクリエーション

**アクセスルート** 既存アクセスルートを活用  
想定する機能：交通、遊歩、スマートフォン充電、休憩

**動植物観察点** 既存観察点と周辺自然を活用  
想定する機能：食、買い物、滞在

**広場** 既存遊歩道及び周辺地帯を活用  
想定する機能：レクリエーション、滞在

**錦江湾を望む水際** 既存遊歩道の活用  
想定する機能：滞在

#### ⑨今後の事業の進め方

◇現時点における事業のスケジュールは以下を予定している。

- 【1〜3年目】**
  - ・地盤調査
  - ・測量調査
  - ・事業手法検討
  - ・官民連携可能性調査
  - ・各種手続き
- 【4・5年目】**
  - ・事業者の公募
  - ・事業者の決定
- 【6年目】**
  - ・契約
  - ・設計
- 【7年目】**
  - ・整備工事

◇事業手法については、民間事業者のノウハウ等を活用した官民連携による事業手法で実施することを基本とし、今後具体的な検討を行う。